

C.T.T.sendai 主催

# 「わたしたちのフイクション」

ニッポン

日時:2014年

6月21日(土)・22日(日)

鹿島将介 + 伊藤拓 + 川口智子 + 村川拓也

## 4人の演出家による「はじめるための思考」

第一部 トークライブ  
「同じ時代に生まれた演劇」

第一部 連続レクチャー  
「演劇のはじめかた / つくりかた」

会場: せんだい演劇工房 10-BOX box-2  
「ここまで来たこと / これから始めること」

**プログラムディレクターより**

「いま、ここ」に、いる「わたしたち」は「どこ」にいくのか。  
 たくさんの方が起こりました。近すぎてどうしていいかわからないような出来事。  
 あまりに遠くて現実感を感じることのないような出来事。  
 現在もまた、たくさんの方が起こっています。  
 わたしたちは、様々な出来事を経て、どのようなことばで語るのか、答えを求め  
 ないまま、何事もなかったかのようにいけることもできます。  
 わたしたちは、様々な出来事を経て、どのようなことばで語るのかを決  
 めて、いけることもできます。  
 今回のこの企画では、京都／大阪／東京それぞれの都市から  
 演出家を招きます。共通するのは、「いま、ここ」にいな  
 がら、「わたしたち」について強い「フィクション」を紡ぎ  
 だせる演出家であるということです。  
 彼らは自らの「フィクション」について語りま  
 す。そのことばとともに、これからのわた  
 したちのフィクションについて、語り  
 合う時間をはじめます。

小濱昭博

C.T.T.sendai 主催  
**「わたしたちのフィクション」**  
 ニッポン + 伊藤拓 + 川口智子 + 村川拓也

**日時**

2014年

6月21日(土)・22日(日)

**会場**

せんだい演劇工房10-BOX box-2

(〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町2-12-9)

**料金**

第一部…通し券:一般3,500円 学生3,000円

第二部…2,000円

※ 第一部の通し券を購入している人は1,000円になります。

**アクセス**

○バスでお越しの方

● 仙台駅バスターミナル4番から約25分

バス停「卸町10-BOX前」(旧 卸町演劇工房前)下車、徒歩3分

志波町・卸売市場経由 東部工場団地行 / 志波町・卸売市場経由 霞の目営業所行

○JRでお越しの方

● 仙台駅からJR仙石線・石巻方面行き4分、「宮城野原駅」下車

3番出口より徒歩約25分(約1.5km)

● 仙台駅からJR仙石線・石巻方面行き8分、「苦竹」駅下車

徒歩約25分(約1.3km)

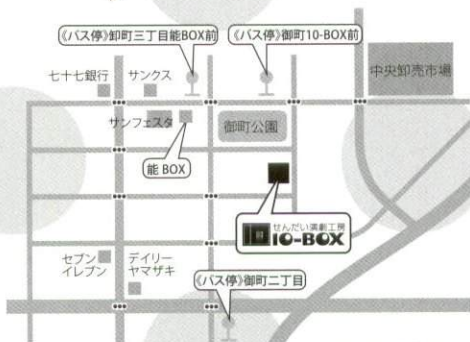
**申込方法**

**問い合わせ**

HP:<http://cttsendai.jugem.jp/>

Twitter:@cttsendai

Tell:090-3755-8878(コハマ)



タイトルを「わたしたちのフィクション／ニッポン申し込み」とし、  
 氏名、連絡先(電話番号、メールアドレス)、希望日程を明記のうえ、  
 ctt.sendai@gmail.comまでお送りください。

※会場は席に限りがございます。定員を超えた場合、申し込みを締め切らせていただきます。

**タイムスケジュール**

第一部 6月21日(土)

連続レクチャー「演劇のはじめかた／つくりかた」

オープニング 13:00-13:15

プログラム A 13:20-14:30

プログラム B 14:40-15:50

休憩(60分)

プログラム C 16:50-18:00

プログラム D 18:10-19:20

交流会 19:40-21:00

\*各プログラムでは、質問者および参加者との  
 フィードバックを20分予定しています。

第二部 6月22日(日)

トークライブ「同じ時代に生まれた演劇—ここまで来たこと／これから始めること—」

スタート 13:00-15:30

交流会 15:30-17:00

**質問者プロフィール**

**磯島 未来(未来.Co)**

1983年生まれ。八戸市出身。幼少よりモダンダンスを習い、上京後は「黒沢美香  
 &ダンサーズ」「ピンクメンバー」として国内外で踊る。08年度文化庁在外研修員  
 としてベルリンに2年滞在。帰国後「未来.Co」主宰として活動を進める。

**中村 大地(屋根裏ハイツ)**

1991年生まれ。東京都出身。大学の演劇部で舞台音響として演劇を始め、  
 部内外問わず多数の作品創作に携わる。部内での演出経験を契機に2013  
 年、自身が作・演出を手がけるカンパニー「屋根裏ハイツ」を旗揚げ。また、第  
 一回とうほく学生演劇祭の立ち上げメンバーとして、仙台だけでなく東北地  
 方の若手演劇の交流・活動の活性化を目指している。

**プログラム A**

「俳優という名の劇場、  
 もしくは退屈について」

鹿島 将介(かしまのぶすけ)

1983年生まれ。東京・浅草橋を拠点に活動。劇団「重力／Note」では代表、演出を担当している。主に近代以降に書かれたテキストを取り上げ、その物語世界にとどまらず、言葉が持つ響きや身振り、作家の思想などを素材とし構成・演劇化している。近年の主な作品に「雲、家。」(F/T12公募プログラム参加作品)、「偽造／夏目漱石」(第20回BeSeTo演劇祭BeSeTo+参加作品)など。2013年には「子午線％石たち」(若伊達プロジェクト)、「リスボン@ベッソ」を仙台で上演している。現在、イブセン「人形の家」を上演するために、横浜でフィールドワーク中。

**プログラム B**

「伊藤拓／也」

伊藤 拓(いとうたく)

1980年生まれ。大阪府吹田市在住。劇や芸術の在り方を模索する活動を中心に。また、ニューとまる。編集長、C.T.T.大阪事務局代表、KYOTO:EXPERIMENT2013プリング企画「使えるプログラム」運営などを務め、舞台芸術の裾野を広げる活動も行う。2012年に劇団France\_panの活動を休止、同年Pan///として活動再開。最近では「味覚鍛錬の会」、「演劇概論を読み耽る会」、「9割音楽について話す時間」などの企画を行っている。

**プログラム C**

「コンテンポラリズム宣言(序)」

川口 智子(かわぐち・ともこ)

1983年生まれ。演出家。サミュエル・ベケット作品上演「ベ  
 ケット・カフェ」(2008年～)、サラ・ケイン「洗い清められ」  
 ("Cleansed")の連続上演「クレンジド・プロジェクト」  
 (2010年～)を企画・演出。最新作「op.00」(2013年／香  
 港)、「Viva Death」(同／京都・東京)では、ケインの戯  
 曲「Viva Death」を「不在のテキスト」として創作。ソロ活動  
 として、不定期に「ひとりdeサラ・ケイン祭」を開催。昨夏よ  
 り、香港のドキュメンタリー映像作家・卓翊と協働して、アジ  
 アの若手アーティストの交流企画「絶対飛行機／Absolute  
 Airplane」を開始。アジアにおける移動式アート・スポットを  
 目論む。

**プログラム D**

「フィクションと  
 ノンフィクション」

村川 拓也(むらかわ・たくや)

1982年生まれ。演出家、映像作家。2005年、  
 京都造形芸術大学卒業。09年まで、地点に演出  
 助手として所属。独立後は演出家として活動を  
 開始し、ドキュメンタリーやフィールドワークの  
 手法を用いた作品を様々な分野で発表している。  
 主な作品に「移動演劇 宮本常一への旅 地球4  
 周分の歌」(引用文献:宮本常一/10)、「ツァイト  
 ゲーバー」(F/T11公募プログラム、大阪市立芸  
 術創造館/11、12)、ドキュメンタリー映画「沖  
 へ」(12) など。

プログラムディレクター:小濱 昭博 制作:横山 真 白石 桃子 央戸 雅紀 宣伝美術:青木 祐輔 主催:C.T.T.sendai

C.T.T.sendai

「私たちは仙台という街で、多くの表現者が観客と共に舞台表現を探る場をご用意します」をモットーに、試演会をはじめ、月いちワークショップなど様々な企画を立ち上げている。